

## 令和4年12月1日に思う

「もう師走。一年経つのは早いなあ」この時期、こんな会話が日常的に飛び交います。歳をとるほど体感時間が短く感じるものですが、これには「ジャンネーの法則」というのがあるようです。生きてきた年数によって、一年の相対的な長さがどんどん小さくなることにより、時間が速く感じるというわけです。つまり一年間を、10歳は、10分の1、60歳は60分の1に。もちろん異論もあるようですが。さて皆さんは、どんな一年でありましたか。

私が真っ先に浮かび、懸念するのは、やはり世界を震撼させたロシアによるウクライナへの武力侵略であり、これに端を発した台湾有事であります。ただそうした中でも、水源地の村づくりに足踏みは許されません。義務教育学校建設事業は無事に本体工事に着手でき、重層的支援体制整備事業は本格軌道に乗りつつあります。さらには、“官民協働、をめざす源流ツーリズムが一層の具体化を迫られる中、観光協会の皆さんが主体となったONSENガストロノミーウォーキングは大盛況でありました。会員はもちろんのこと、「村の魅力発信に積極的な方々」がサポートされ、めざすところの「協働が見えた」と期待が膨らみます。

難問山積の岸田内閣ではありますが、昨年の同期に小欄で紹介した言葉「早く行きたければ一人で進め、遠くに行きたければ皆なで進め」は、私の思いが重なります。よいお年をお迎えください。